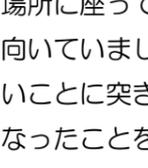


花組さんになったよ！ 花組：中原	新しい出会い 風組：水口	星組さんの生活 星組：井上
<p>入園式が遠い昔のここのように感じられるくらい、あっという間に過ぎていった半数登園。いよいよ全員登園が始まりました。これまで、緊張しながら頑張っていた花組さんの子どもたちも少しずつ幼稚園に慣れてきて、おうちの方との別れ際にさみしくなって泣けるようになりました。「泣いてもいいんだ」「頑張らなくてもいいんだ」と、そんなふうに思えるように、一人一人が安心して自分らしくいられるような関係を、これから少しずつ築いていきたいと思っています。今はまだ「ねえー」「あの先生(人)」と呼ばれる関係です。「さなえ先生・きょうこ先生」と呼んでもらえる日を夢見て過ごします。</p> <p>初めて集団生活を経験する子どももいる花組さん。保育室では、色画用紙でつくったチョウチョを飛ばしたり、レール積木の上で車を走らせたり、ミニカーや恐竜のフィギュアを並べたりカメさんにご飯をあげたりと、それぞれが思い思いに過ごしています。保育者が「砂場に行ってみようかな」と声をかけると、「僕も」「わー」と走って靴を履き替えに行くA君B君。保育者の顔を見上げながら保育者の後をついて行くC君。友達の様子を見て「私も」と続くDちゃんEちゃん。一人一人の反応は様々ですが、みんな「私もやってみようかな」と心が動いているところが素敵です。一人一人に靴を履く場所や帽子がある場所を伝えながら砂場の場も伝えると、我先にと砂場道具の台車に駆け寄り、自分が使いたい道具をたくさん握りしめ戻ってくる花組さん。そして、一人一人がそれぞれの場所に座って遊び始め、気がつけばみんな真剣な表情で下を向いていました。友達や保育者には目もくれず、自分のしたいことに突き進むその姿がなんともかわいくて、花組担任になったことを実感しました。しばらくするとそれぞれに自分の思いが湧いてきて、いろいろな形のカップを使って、次々に型抜きを始めるEちゃん。カップに入るだけの砂を入れ、スプーンで砂をくるくる混ぜているFちゃんに砂をひたすら高く盛るGちゃん。それぞれの楽しみ方があるところも面白いなと思いました。砂場から少し離れたところでは、H君が雨水で湿っている土の上で車を走らせていました。車が通ったところには跡が付き、道ができていました。そして、ふと顔をあげ保育者の顔を見てニコッと笑うH君。満足そうな表情でこちらまで嬉しい気持ちになりました。始まったばかりの花組さんですが、こんなにもかわいい姿がたくさんあって、この先の日々がますます楽しみになりました。</p>  	<p>今年度の風組は、進級した13人に12人の新しい友達が加わり、総勢で25人の1クラスとなりました。花組から幼稚園に通っていた13人は、新しい友達に加わったことでさらに友達の輪が広がっていきました。また新しく入ってきた12人は、初めての附属幼稚園の生活の流れに戸惑いを感じながらも友達や先生に教えてもらい、朝の支度やお弁当の準備、帰りの支度など少しずつ自分でできるようになってきました。さらに、初めは周りの様子を見てから動いていた子どもたちが園の生活に慣れ始め、自分から「Aちゃん、一緒に遊ぼう」や「B君、僕もいれて」など声を掛け合って色々な友達と一緒に遊ぶ姿がよく見られるようになりました。</p> <p>星組さんが開いてくれた「なかよし会」では、星組さんが曲に合わせて踊る姿を見て一緒に踊ろうとする姿や作ってくれたメダルのプレゼントをもらって喜ぶ姿がたくさん見られました。また、メダルをもらった後に星組さんに向けて「メダルをつくってくれてありがとう」や「今度、一緒に遊ぼうね」、「嬉しかったよ」など花組や星組が見ている中で、言葉にして自分の気持ちを伝えることができました。</p> <p>今月は色水作りやごっこ遊び、絵の具を使った色塗りなど、それぞれが今遊びたいことを一人で取り組んだり友達と一緒にしたりする様子が見られました。例えば、「Cちゃん、色水をつくるための水もう少しいる?」や「わたしがお母さんだからご飯をつくるね」、「ピンクを塗ろうと思ったら、色が混ざってオレンジになった!」など友達と会話を楽しみながら遊んだり、絵の具を塗る中で色の発見をしたりしていました。</p>   <p>環境が変化した中で、子どもたち一人ひとりが自分のペースで歩んでいます。それは保護者の皆様が多様な場面でお子様のことを日々支えて下さっているおかげで、子どもたちが幼稚園で安心して過ごしたり、遊んだりすることができていると感じております。登園時やお弁当、降園時、廃材集めの協力など、ご尽力いただきありがとうございます。</p> <p>また、これからも温かい目で子どもたちを見守って下さるよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>始業式の日、星組前の桜は満開。花吹雪に進級をお祝いしてもらっているようでした。新たに2人の友達を迎え、星組さんは25人で賑やかにスタートしました。星組になって使える人気の遊具の一つに大型ブロックがあります。大きいので「そっち持って」と声を掛け合ったり、「2階がある家にする?」など相談が必要だったりして、友達がいるからこそ楽しめる遊具です。いざこざが起きたり、友達に助けを求められず困っていたりなどいろいろ起きますが、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたり、どうしたらよいか考えたりするいい機会と捉え、子どもたちの間をつないでいるところです。星組の遊び環境もですが、星組の生活でも“協力して”を大事にしています。生活グループをつくり、農場や当番、行事など機会をとらえてグループでの活動をしています。いつもの気の合う友達とは少し違うグループの友達とも「それいいね」「どうやったの?」「一緒にしよう」など気持ちを合わせ、相談しながら一緒に動けるようにという思いからです。協力することで、より楽しくなったり、一人ではできないことができた経験を重ね、一人の「それいいな、やってみよう」から、みんなにとっての「それいいね、それにしよう」と考えられる星組さんにこの1年になっていけたらいいなと思っています。</p> <p>先日、新しい花組さん風組さんに“仲良くしようね”と星組さんが「なかよし会」を開きました。プレゼントを作ったり、何を歌ってあげる?などみんな相談したりして準備をしてきました。当日は、朝から花組の様子を見に行きソワソワ。「遊戯室の飾りがまだいる!」「風組の時作った虹色の(輪飾り)がいい」とギリギリまで準備に勤しんでいました。飾りを作ったA君が「先生一人じゃ飾れない」と言っていたのに、ふと遊戯室を見ると、壁にたくさん折り紙や紙テープが貼ってあります。友達と一緒に「ここを貼るからこっち貼って」と飾っていました。年中時の経験を生かしていたり、自分達で協力していたりして素敵!力を合わせてみんな準備をし、会ではグループで担当する言葉を決めて進めていきました。緊張や恥ずかしさの中、頑張ろうとする気持ちが言葉や歌う姿に表れていました。風組さん花組さんに「ありがとう」「また来るよ」などメッセージをもらい笑顔の星組さんでした。先生達の名演技に劇は大爆笑。なかよし会大成功!星組みんな「ばんざい!」をしました。これから1年仲良く遊ぼうね♪</p>    